

教科名	国語		学年	3	教科書 補助教材 等	「高等学校 現代文B(改訂版)」(第一学習社)「評論速読トレーニング2000(数研出版)」「国語頻出問題1200(いいずな書店)」「共通テスト国語対策問題集現代文編(桐原書店)」
科目名	現代文B		単位数	2		
科目担当者	阿部みづき・田山ゆかり・渡辺美穂					
科目の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。					
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考
一 学 期	4	評論：言語が見せる世界	物事の認識が、相貌に「典型的な物語」を見ることに始まるという筆者の主張を捉え、言語と認識の関係について理解を深める。		6	
	5	評論：言語が見せる世界 中間考査	物事の認識が、相貌に「典型的な物語」を見ることに始まるという筆者の主張を捉え、言語と認識の関係について理解を深める。		4	中間考査
	6	評論：現代日本の開化	現代の日本の開化が「外発的」「消極的」であったという筆者の主張を正しく捉え、日本の近代化の特殊性とそれが人々に与えた影響を理解する。		7	
	7	評論：現代日本の開化 期末考査	現代の日本の開化が「外発的」「消極的」であったという筆者の主張を正しく捉え、日本の近代化の特殊性とそれが人々に与えた影響を理解する。		1	期末考査
	8					
二 学 期	9	評論：「である」ことと「する」こと	「である」論理と「する」論理の相違や、「『である』価値と『する』価値の倒錯」を理解する。また自己と社会の関係について認識を深める。		7	
	10	評論：「である」ことと「する」こと 中間考査	「である」論理と「する」論理の相違や、「『である』価値と『する』価値の倒錯」を理解する。また自己と社会の関係について認識を深める。		6	中間考査
	11	共通テスト対策問題の演習	言語を手掛かりとしながら、文章から得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、目的や場面に応じて文章を書いたりする力を身につけさせる。		7	
	12	私大入試問題の演習 期末考査	現代社会における諸問題点に関連のある作品を扱い、ものの見方、感じ方、考え方を広げるとともに論理的思考力や読解力を身につけさせる。		5	期末考査
三 学 期	1	卒業考査	1年間のまとめ		1	
	2					
	3					
年間授業時間数計	38		1学期12	2学期25	3学期1	
学習上の留意点	文章の読解と並行して、問題集等を用い語彙力の向上を図る。					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	文章に対する関心を深め、読解力および記述力の向上を図ろうとする。				定期考査、小テスト、授業への取り組み姿勢等を踏まえ、総合的に評価する。	
話す・聞く能力	他者との交流の中で文章のテーマに対して自分の考えを深め、発展させている。					
書く能力	相手や目的・意図に応じて、自分の考えを的確にまとめて記述することができる。					
読む能力	豊かな語彙を身につけ、適切な内容把握や表現の特色を読解することができる。					
知識・理解	豊かな語彙を身につけ、適切な内容把握や表現の特色を読解することに役立てようとしている。					